

沖縄県保険医協会会員数
800名
(10月1日付 現勢)
全国保険医団体連合会会員数
107,390名
(10月1日付 現勢)

沖繩 保險區新聞

発行所 沖縄県保険医協会
〒902-0078 那覇市字識名1195-1
大城産業ビル106号
TEL (098) 832-7813
FAX (098) 832-4482
<https://okinawa-hk.com>
発行人 仲里尚実
年間購読料1800円(会員の購読料は会費に含む)



要請書手交式



赤嶺議長との懇談の様子 9月18日

コロナ禍を乗り越える 5団体共同の県庁要請行動で署名612筆を提出 すべての医療機関・介護事業所へ緊急財政支援を求める

9月18日(金)、沖縄県社会保障推進協議会(会長・新垣安男)、沖縄県民主医療機関連合会(会長・座波政美)、沖縄医療生活協同組合(理事長・上原昌義)、社会福祉法人沖縄にじの会(理事長・仲西常雄)および当協会の5団体で、玉城デニー知事、赤嶺昇県議会議長に対し緊急財政支援を求める要請を行った。当会からは仲里尚実会長、高嶺朝広副会長が参加した。

知事への要請は県保健医療部主幹の山里亮子氏が対応し、①県内全医療機関・介護事業所の経営影響調査の実施、②前年実績比の減収分等の財政支援を行うよう国に要請すること、③第一次、第二次補正予算で予算化された施策(支援策)を速やかに実施すること、以上3点を要請し、医療介護現場の窮状を訴える切実なメッセージも併せて612筆の署名を手渡した。

その後の赤嶺議長との要請懇談では、直接要請書と署名を手渡し、当会の会員アンケート結果等の資料を示しながら、コロナ禍で多

を続け、経営は破綻に向かっています。（歯科）

○ 前年実績との比較が難しい新規開業のクリニックも支援できる制度にしていただきたい。（医科）

○ 早急に数多くのP C R 検査が施行できるように希望します。またG O T O キャンペーンよりも医療機関への資金援助が必要です。（医科）

以上3点を要請し、医療介護現場の窮状を訴える切実なメッセージも併せて61
2筆の署名を手渡した。

知事への要請は県保健医療部主幹の山里亮子氏が対応し、①県内全医療機関・介護事業所の経営影響調査の実施、②前年実績比の減収分等の財政支援を行うよう国に要請すること、③第一次、第二次補正予算で予算化された施策（支援策）

9月18日(金)、沖縄県社会保障推進協議会(会長・新垣安男)、沖縄県民主医療機関連合会(会長・座波政美)、沖縄医療生活協同組合(理事長・上原昌義)、社会福祉法人沖縄にじの会(理事長・仲西常雄)および当協会の5団体で、玉城デニー知事、赤嶺昇県議会議長に対し緊急財政支援を求める要請を行った。当会からは仲里尚実会長、高嶺朝

くの医療機関、介護事業所が経営悪化しスタッフが疲弊している実態、また全医療機関で平均約30%の減収となつており、一日も早くすべての医療機関、介護事業所へ財政支援を実施するよう求めた。赤嶺議長からは「医療介護関係機関の経営悪化は県民に多大な影響を与える。県議会でできることは可能な限り協力していく。」との前向きな発言もあり、今後県議会で早急に財政支援を含めた実効性のある支援策等について議論されることを期待し、それらの支援策が実施されるまで引き続き要請していく。今回の要請行動は、Q A B、O T V、琉球新報、沖縄タイムスで大きく報道された。

担が原則1割から2割の負担増、②受診のたびに、定率負担（1～3割）にプラスして100円～500円の追加負担、③湿布薬や痛み止め薬などの「保険はずし」や自己負担の見直しで患者負担増、④介護保険ケアプラン作成の有料化等さらなる患者負担増を計画しています。これらの中止を求めて保団連・保険医協会

医療運 コーナー

待合室 クイズ

医師増員施策について懇談
過疎地での医師体制強化を
求める

吉城慶医療収束説長へ安請書を父子 9月11日

**里尚実会長との共同
要請を行い、特に本
県保健医療部の宮
療政策課長と懇談し
離島などの医師不足
問題を抱える中町村に実施したアド
バイス会議**

**「こんな時に//
負担増?!**

●増やす計画 ●減らす計画

資金が低下 病院の4ヵ月連続マイナス

生活保護の申請 増加

失業者数 195万人(6月)

前年同月比 133.1人倍!

**今年も多くの患者さ
れるよう待合室キ
ーインに取り組みます
に医療について考
で考える
・ヤンペー**

**里尚実会長との共同
要請を行い、特に本
県保健医療部の宮
療政策課長と懇談し
離島などの医師不足
問題を抱える中町村に実施したアド
バイス会議**

**「こんな時に//
負担増?!**

●増やす計画 ●減らす計画

資金が低下 病院の4ヵ月連続マイナス

生活保護の申請 増加

失業者数 195万人(6月)

前年同月比 133.1人倍!

**今年も多くの患者さ
れるよう待合室キ
ーインに取り組みます
に医療について考
で考える
・ヤンペー**

今年初めごろからコロナ感染症が拡大し、新生活様式の一つとして日常のマスク着用が子供からお年寄りまで全世界に感染予防の意識が広がった。これまでインフルエンザに罹ったことがない私は、マスクを着用する習慣が皆無で、口頃からよくマスクをつける人を見ると「なんて大袈裟な」という感覚があった。

コロナ以前、マスク着用が当然の患者さんと接する医療従事者において、通院した歯科医院で治療を終えて、受付で会計を済ませた時、マスクをはずして「お大事に！」と笑顔で挨拶をされたことを、嬉しくて感激したことを覚えている。何気ない動作のひとつが、これほど相手に好印象を与えるものだと気付かされ日頃の自分自身の所作・動作はどうなのか考えさせられるひと場面となつた。

コロナ社会で身についたマスク着用だが、「相手にうつさない」「自分もうつらない」を頭に置いた場合、人混みや密集しているところでは、せめてマスクをつけて、手洗いうがいが習慣になってきた。時々はスーパーや銀行に入るときにマスクを着け忘れて、周りから白い目で見られて、周囲から白い目で見られることもある。

最近はコロナとの共存で色々なマスクが販売されるようになり、服装と同じで、購入するにもじっくり素材や色柄を吟味して購入。せめてマスクの色柄をかえて、明るい気分でコロナの日常生活を過ごしたい。

○ カ入日解よ、たれ行つりるいーク　れ動、をうえ婚夫ク付園原当と入ロクにうれ平用で生症ろ

口腔内セネストパチー(体感異常症)の一例

—「口腔顔面痛を治す」の当協会講演会後に紹介されてきた患者さん

オリブ山病院 精神科 仲里 尚実

はじめに

沖縄協会では昨年まで3年連続で「口腔顔面痛を治す」と題して歯科医科合同の研究会を開催した。その後、講演会に参加した歯科の3人の先生方から私宛に患者さんが紹介されてきた。第一例目は沖縄市のT



移住夫婦の話 1【恩返し】

理事 樋口 豊

歯科から紹介されてきた患者さんで、本年4月号の当紙に「アミトリップチンが奏功した『原因不明の歯の痛み(非定型歯痛)』の一例」として紹介した。

今回は、浦添市のS歯科医院から以下に提示する患者が紹介されてきたので紙

面を借りて症例報告とした。なお、S歯科からの診療情報提供書には「講談社出版健康ライブラリー『口腔顔面痛を治す』の158ページに記載されているような症状を訴えます」と記載されていた。

50代の頃に糖尿病を発症、N内科に通院加療。68歳の時脳梗塞を発症しS脳神経外科受診。保存的加療となり内服薬とリハビリを

6年前、S歯科から琉大病院歯科を紹介されて受診し「異味症」と診断された。その後数か所の病院歯科にも受診したが、いずれでも「異常なし」であつた。

今回、かかりつけのS歯科より当院を紹介された。当院初診時に患者は「11年間悩んできた」と訴える。

【出会い】に恵まれて活動を始めた。最近はチューニング

主訴・水を飲んでも、唾液入りして既に久しい信次元の話ではなく、頭中に降りて来る“あちらの世界”についての会話。

こんな会話が我が家に仲間入りして既に久しい信じる・信じない、意味がある・ない、受け止め方は全く個人の自由なのだが、私達夫婦が沖縄移住を果たして10年を超えた頃から、不思議な経験や助言と何度も遭遇したのは事実。それに促されただよ」と妻に報告すると、「あらつ(間をあけて)ねえ奥の方に女の人のがいたでしょう。(私、少し考えて)「言われてみれば、いたねえ。琉装の女性がこっち向いて立つてたか

症例 80歳 女性 主婦

生活歴

夫は末の子が幼少のころ失踪。女手で子供3人を育てる。水商売をしながら生計を維持した。60歳過ぎてからシルバー人材センターに登録し、10年前まで仕事していた。現在は単身生活。

現病歴

「唾が出る・食事や飲水をしても苦い味がする」等、味覚に違和感が生じ現在も改善せず。そのため食事も不規則で、血糖値も不安定になつてている。

私は頑張ります】
第一選択薬を抗うつ薬レバトロリールといいます。またそれが効かなければ抗精神病薬を使います。11年も我慢してきましたから、少しでも良くなるよう

【島への恩返し】などと言ふとおこがましいのだが、いう念が湧き出しては、明るく思ひだす。うつ病をうつ薬を3ヶ月間試してみました。それが効かなければ、リボトリールという薬。またそれが効かなければ抗精神病薬を使います。

11年も我慢してきましたから、少しでも良くなるよう私は頑張ります】
第一選択薬を抗うつ薬レバトロリールといいます。またそれが効かなければ抗精神病薬を使います。11年も我慢してきましたから、少しでも良くなるよう私は頑張ります】
第一選択薬を抗うつ薬レバトロリールといいます。またそれが効かなければ抗精神病薬を使います。

明した。「あなたはうつ病ではないですが、最初は抗精神病薬を使います。うつ薬を3ヶ月間試してみました。それが効かなければ、リボトリールといいます。またそれが効かなければ抗精神病薬を使います。

ましよう。それが効かなければ、リボトリールといいます。またそれが効かなければ抗精神病薬を使います。

